
第5回 藤沢駅周辺地区再整備構想検討委員会

資料1 各部会からの報告

1. 藤沢駅改良専門検討部会による「駅街区を中心に据えた際の駅周辺街区における整備の方向性」について1
2. 南北まちづくり市民検討部会の検討結果等を踏まえた藤沢駅街区検討に対する要望[事務局まとめ]2
3. 南北まちづくり市民検討部会による「公共施設・機能配置の考え方」について3

2012年(平成24年)1月19日

1. 藤沢駅改良専門検討部会による「駅街区を中心に据えた際の駅周辺街区における整備の方向性」について

第3回藤沢駅改良専門部会において、駅街区を中心に据えた際の駅周辺街区における整備の方向性について以下のとおりまとめが行われました。

駅街区を中心に据えた駅前広場に隣接する街区等を含む藤沢駅周辺街区に対する整備の考え方について、以下のとおり位置づけています。

駅街区を中心に据えた際の駅周辺街区における整備の方向性

上位計画の整理

中心市街地活性化を牽引する拠点的な都市機能の充実

歩行者回遊性の向上・交通ネットワークの充実

藤沢にふさわしい駅前の空間づくり・顔づくり

課題の整理

駅前整備から40年近く経ち、建物・構造物等も老朽化し
 ・魅力・ポテンシャル不足による商業活力やにぎわいの低下
 ・バリアフリー対応や利便性の向上が困難 等

南北自由通路の錯綜による円滑な南北の流動を阻害
 南北駅前広場における快適性、利便性の低下
 駅街区から街への回遊を誘発する動線の不足

耐震性能に課題がある等、更新・再整備時期を迎えている施設が多く
 ・まちの象徴、駅前のシンボル空間の陳腐化
 ・緑の空間・広がりとの連続性の不足

整備のテーマ

駅周辺ネットワークの核となる緑溢れる空間演出と賑わいの源泉

市内外から藤沢に訪れたい魅力とポテンシャルのある駅前と街への回遊の形成
 湘南藤沢を牽引する顔づくり・玄関づくり

整備の方向性

老朽化建物の再整備などによる、駅を中心とした既存都市機能の再生・強化

ニーズや社会動向変化を見据えた新たな駅前の機能の充実

まちの南北流動動線の強化・充実

駅前広場の再編による交通結節点機能の改善

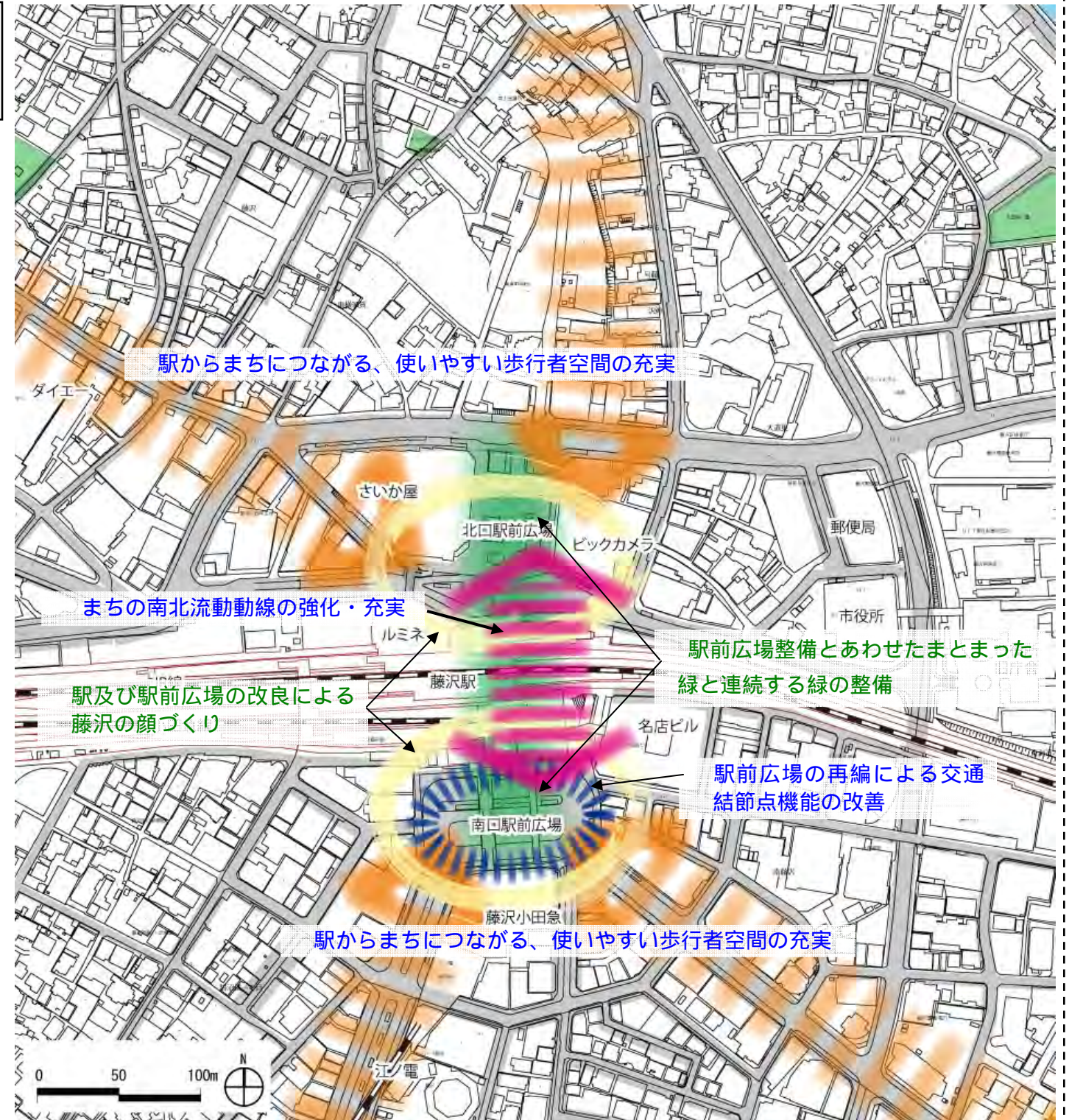
駅からまちにつながる、使いやすい歩行者空間の充実

駅及び駅前広場の改良による藤沢の顔づくり

緑の拠点とまちへの連続した緑の空間整備

非常時に対応した防災性の強化

駅街区を中心に据えた際の駅周辺街区における整備の方向性



老朽化建物の再整備などによる、駅を中心とした既存都市機能の再生・強化
 ニーズや社会動向変化を見据えた新たな駅前の機能の充実
 非常時に対応した防災性の強化

2. 南北まちづくり市民検討部会の検討結果等を踏まえた藤沢駅街区検討に対する要望[事務局まとめ]

第8回、9回南北まちづくり市民検討部会を中心に、藤沢駅街区について望む役割を検討した結果をもとに、以下のとおり事務局がまとめました。

都心部再生・社会状況変化等を見据えた、街側からの 藤沢駅街区 に望む役割

藤沢都心部の顔・湘南の玄関口

- ・都心部や藤沢市の顔として、また湘南の玄関口というコンセプトを持った駅街区を形成することで、藤沢や藤沢市に対する印象や知名度を高め、暮らしている人の愛着や、藤沢を訪れたい人の増加、都心部及び市全体への活力波及を期待。
- ・心地よく憩い・交流できる場を設けることで、駅から出てくる人や、待ち合わせ・憩う場として藤沢を選ぶ機会等の増加が期待されることや、日常的な人の賑わいやイベント開催等により「楽しそうな駅前のある街」として、より大きな集客を期待。
- ・駅街区に時間を過ごしに訪れる人の増加が、周辺への波及には必要。

望む空間のあり方	例えば
藤沢都心部の顔・象徴となりうる「存在感・視認性」 湘南藤沢を実感できる、交流結節点としての「空間・機能」	・湘南を感じさせるコンセプトがある、あるいは湘南のイメージのシンボルとなる駅・駅街区 ・太陽・空・風・緑などの自然と都市空間の共存 ・デッキ・自由通路等でのにぎわい・溜まりや象徴的な空間 ・湘南藤沢らしさをらしく情報発信する空間

くらしやすさを支える安心・安全・快適

- ・充実した公共交通をより安心して利用できるよう、ユニバーサルデザインを取り入れた駅街区を形成することで、市民等の自立的なくらしを支えるとともに、鉄道で通じている広域の多世代の人が訪れたいことを期待。
- ・3・11の東日本大震災で再認識されている、多くの人が集まっているターミナルとしての緊急時の備えを計画段階から取り入れ、充実・発信することで、安心と付加価値の向上や啓発等を期待。

望む空間のあり方	例えば
藤沢駅にたどりつけば何とかなる「ユニバーサルデザイン」 災害等緊急時におけるターミナルにおける備え	・鉄道乗換のみならず、バス・歩行・自転車等、多交通モード間の円滑な利用・乗換とシステムの充実 ・駅周辺へのアクセスや乗換などを心配せずに利用できるようなユニバーサルデザイン ・集客施設としての緊急時の役割を果たす備えと、日常利用との共存による効率的な運用

街への流れを創出するポンプ機能

- ・鉄道利用者が駅構内で過ごすのではなく、改札を出て街で楽しみ・交流するような流れを作り出す駅になることを期待。
- ・街が「藤沢駅で降りたくなる魅力」を持たなければならないことは当然として、駅側による街へと自然に流れていける動線とソフトにより、街への回遊、商店街等の利用、様々な交流機会が増えることで、都心部の活力・活気が維持・向上し、更に若い世代や活気のある商業・サービス・業務等の進出による商店街や通りの維持・再活性化を期待。
- ・街に出てもらってからは街の努力が必要だが、まずは出てもらえる駅街区形成を期待。

望む空間のあり方	例えば
人を集める・藤沢に降りたくなる「魅力」と「明快で滑らかな動線構成」 人を街へ流す「わかりやすい誘導システム」 新たな利用形態・機能を創出する「南北の一体化に寄与する動線軸」	・改札から出たくなる魅力のある駅施設 ・街の情報や魅力の発信・案内 ・気がついていたら回遊しているような、街へと繋がるさりげないネットワーク ・街へ出たら 湘南藤沢らしさ を楽しめる予感がするインターフェイス ・「デッキの向こう」より、街を近く感じられる仕掛け ・街の南北等をつなぐ新たな交流軸・しつらえの創出

3. 南北まちづくり市民検討部会による「公共施設・機能配置の考え方」について

第8回、9回南北まちづくり市民検討部会において、公共施設・機能配置の考え方について以下のとおりまとめが行われました。

公共施設・機能配置等の考え方

A 基本構想(案)より

- ・市役所機能については、他の官公庁と一団となり、多様な人が多彩な用件で訪れる場所であることから、鉄道3線が結節する交通ターミナル・藤沢駅周辺への配置が望ましい。
- ・より多くの人々が自立的に、気軽にアクセスできるようユニバーサルデザインによるアプローチを持ったシティホールとする必要がある。
- ・市民等の活動を支える交流機能については、街を楽しむ機会をより多く持ってもらえるよう、藤沢駅から一定の距離を保ちつつ、地区全体のバランスを有することが出来る配置が望ましい。また、災害時等を視野に入れた一定規模の公共用地の確保が必要である。

B 「次の時代の湘南・藤沢ライフを先導しプロモーションする都心」形成の観点から

- ・基本構想で示している“湘南・藤沢らしさ”を体感できる都心部形成を実現するために、公共施設立地による機能の充実とともに、建物等により空間形成において先導する姿を見せることが重要である。
- ・行政機能や文化機能等の公共施設の存在は都心機能の多様性を維持し、その付加価値を高めるとともに、多数の市民や事業者、関係者等の市庁舎等への来訪、並びに関連する諸活動の誘発効果も含め一定量の都心部の経済活動を創出する等、都市経営や再活性化への大きな役割を果たすこととなる。
- ・湘南エコライフを実践できる公共機能配置とともに、環境に対する先導的な取り組みが必要である。

C 市庁舎が担う役割の観点から

- ・市役所は有事に市民が集まる場所であり、また広域に対して応接機能の役割を持つ場所であることから、藤沢を選択して居住している市民等の感性に沿うような、誇りと愛着を持てるとともに、心の拠り所になるような位置と風格を有することが望ましい。
- ・超高齢社会、ユニバーサルデザイン等に対応した市庁舎と駅との近接性や快適なアクセスが重要である。

D 新たな市庁舎像の観点から

- ・地域のまちづくりや身近な公共・公益サービス機能等は市庁舎から、13地区の市民センター等へ機能移転・分散する一方で、地域主権社会において中長期を見据えた市行政の方向性等を決定するヘッドクォーターの役割がより重要となり、行政と市民の「共治」の実現に向けて市庁舎は機能・空間両面において象徴性を持つことが必要である。
- ・都市及び市民の成熟化や都市間競争が進む中で、新たな市庁舎像・市庁舎機能について、藤沢市に関わる多様な主体を交え検討することが重要である。

E 3・11を教訓にした安心・安全の観点から

- ・大災害の発生時に市役所は広域からの人・情報・物が集まってくる場所であり、非日常空間の長期化の可能性等を見据え、市庁舎を他機能と複合化する際には許容される・相応しい機能等を検討することが必要となる。
- ・都心部として多様な役割機能が期待される中、多大な交流人口が災害発生時における一時的に避難できる空間とともに、被災後の救難・救援・情報発信のためのオープンスペースが必要である。
- ・津波や集中豪雨等のリスク可能性等を視野に入れた配置検討が必要である。